

### 外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373400486
事業所名	グループホームせんじゅ

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2）	評価
	消防訓練では地域に日時を案内し、実際に地域住民も参加し、水消火器・起震車体験をしている。デイサービスで開催される、地域ボランティアによる昭和歌謡・フラダンス・民謡などのイベントでは、地域の人も多く参加する。地域の人が徘徊してけがを負った時には、近所の人が手当てをしたものの認知症の対応が分からず、ホームへ連れてくるほど地域でも知られた存在になった	○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3）	評価
	市職員・家族・施設長・ホーム職員・民生委員をメンバーとし、規定通り開催されている。ヒヤリハット・事故事例・改善策の、会議での報告も定例化している。多い時には5～6家族が参加する。より参加を増やすため、土日開催を増やそうかと検討している。市職員は「皆さん生き生きと生きて、ここの生活がより良いものだと思えた」とホームでの生活を評価している。	○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4）	評価
	地域包括主催の、医師・グループホーム・ケアマネ・薬剤師・歯科医師・行政が加する、地域連携会議のメンバーとして、地域住民を支えている。施設長が窓口となり、週に2、3回、市に赴き、状況報告・空室状況・困難事例の相談を行っている。	○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6）	評価
	家族会は年2回開催され、運営推進会議でも要望を開く体制ができています。ホーム便りも毎月発行・配布されている。数日前も、医師から入院を勧められたが、家族で十分に話し合った結果、「やっぱりここで見送ってほしい」と懇願され、看取りをしたばかりである。	○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	×	○	○	○	○	○	◎	○			